

令和5年度  
愛媛大学大学院修士課程  
修了予定者アンケート調査報告書

愛媛大学教育・学生支援機構

# 「令和5年度修了予定者アンケート」

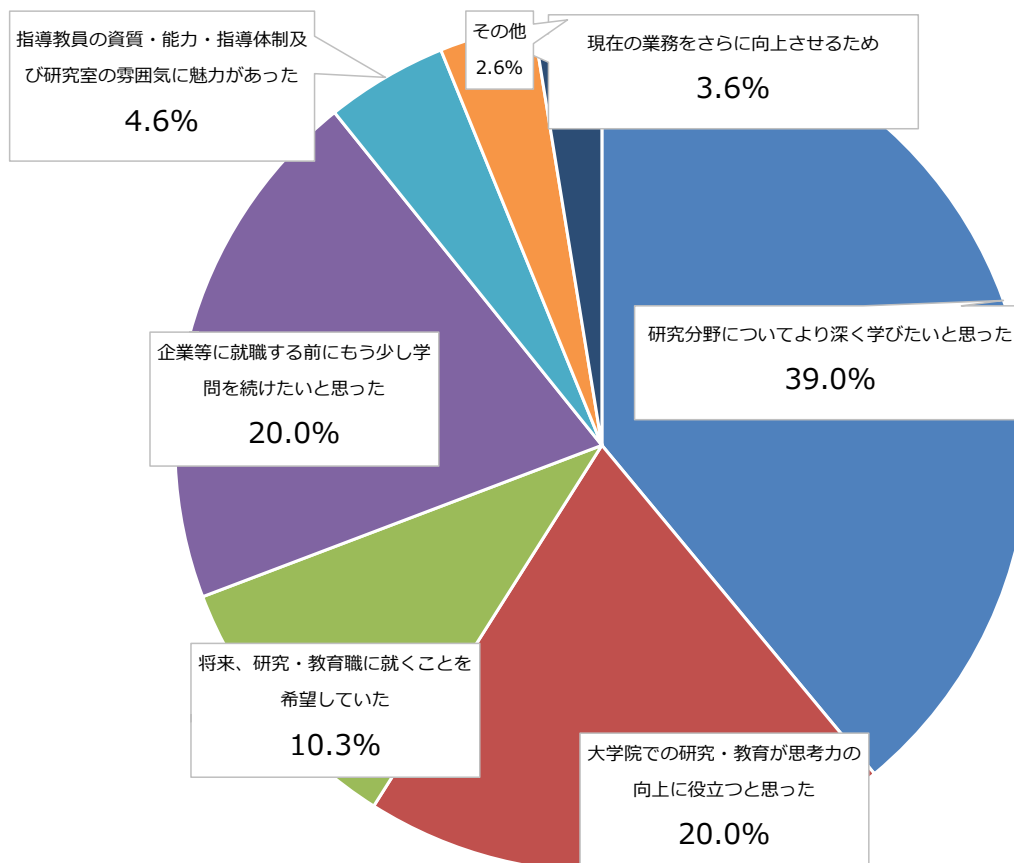
- 調査対象： 令和5年度修士課程／博士前期課程修了予定の全学生
- 実施時期： 令和5年12月1日～令和6年3月31日
- 回答者数： 195名（回答率49.2%）

※回答者1名の研究科、専攻について研究科、専攻ごとの資料は含めていない

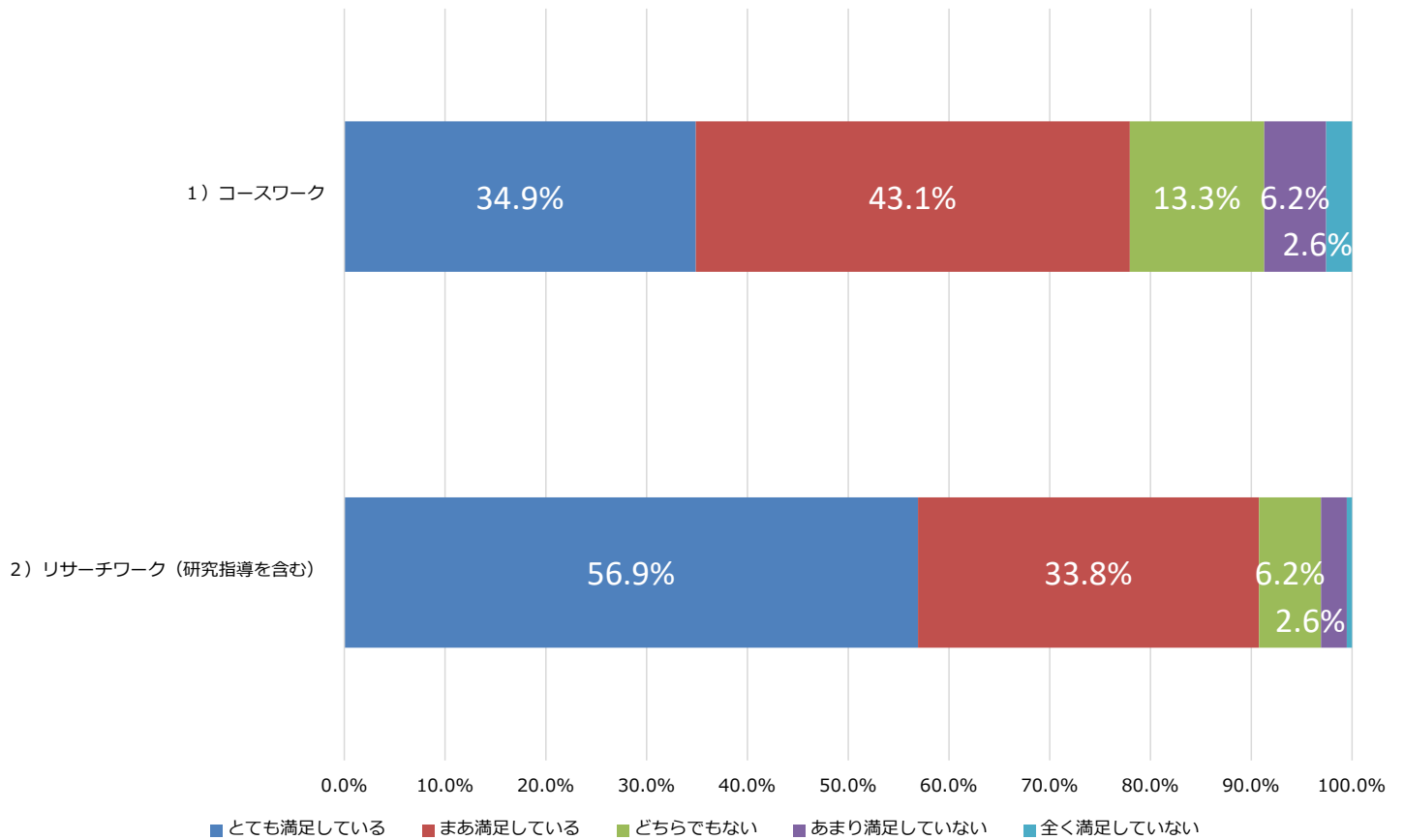
## 内訳

研究科	回答者数／対象者数	回答率 (%)
人文社会科学	6／15	40.0
教育学	34／49	69.4
医学系	2／7	28.6
理工学	124／265	46.8
農学	26／52	50.0
医農融合公衆衛生	3／7	42.9
合計	195／396	86.7

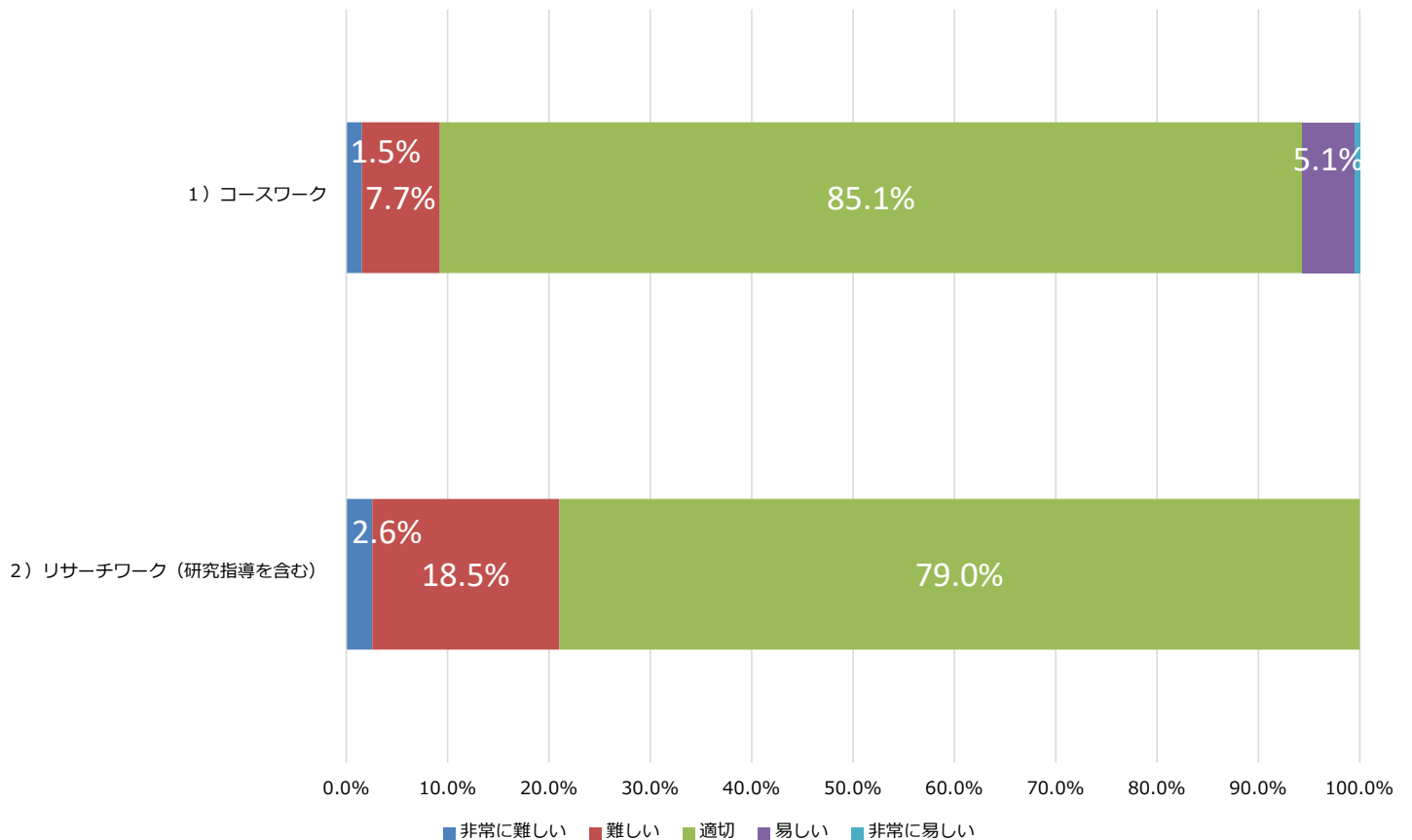
## 大学院の志望理由



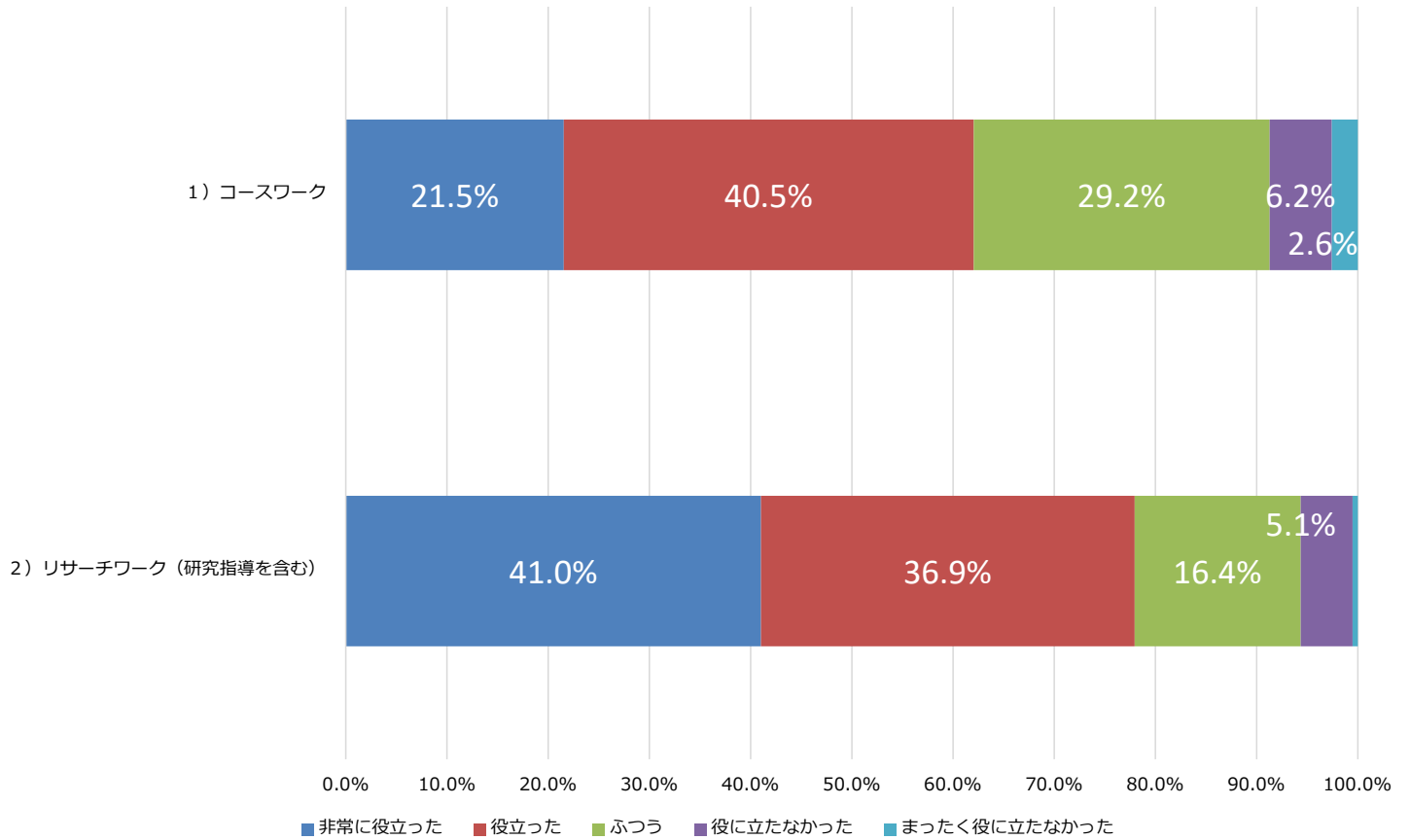
# 教育プログラムの満足度



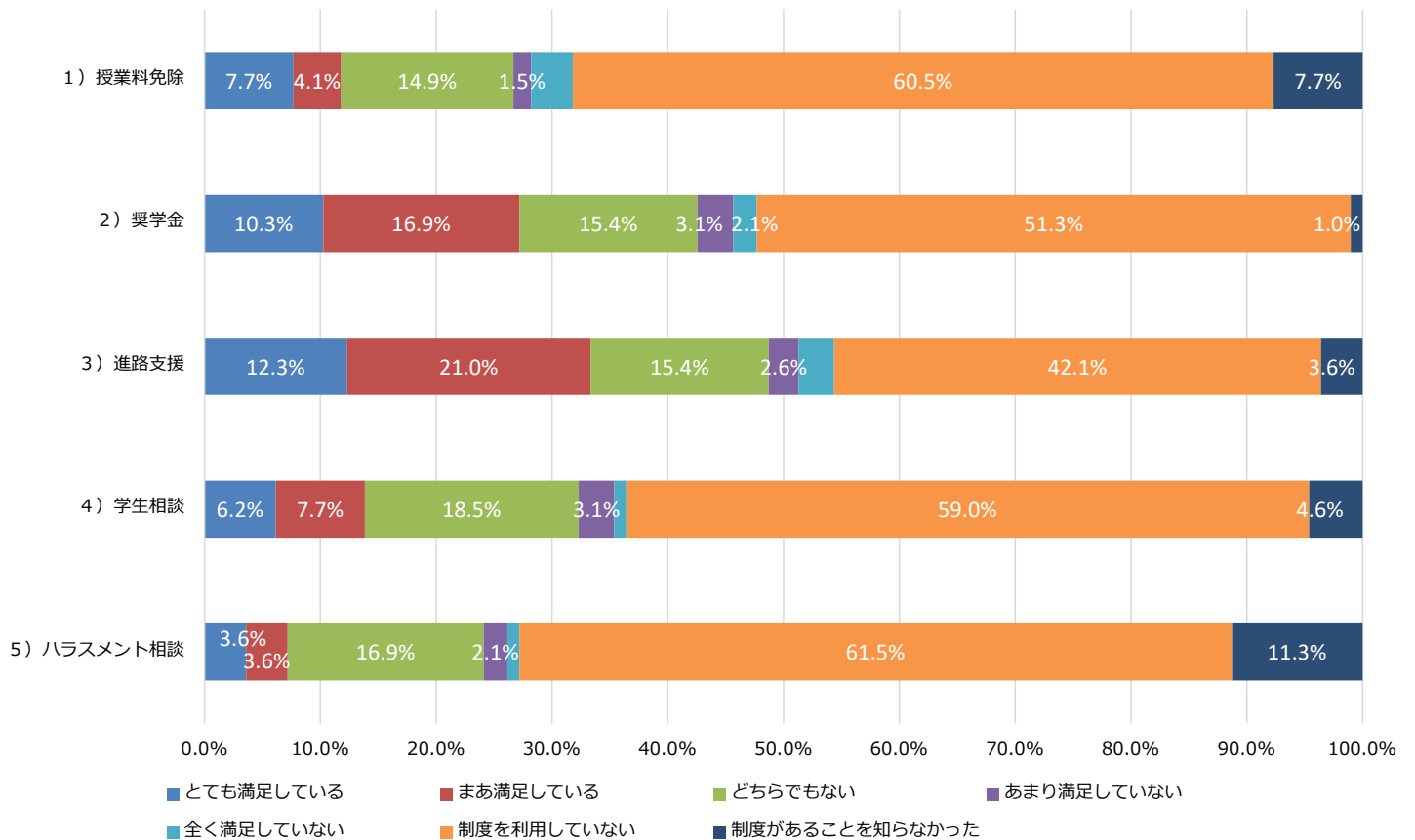
# 教育プログラムの学術的水準



# 進路決定への影響

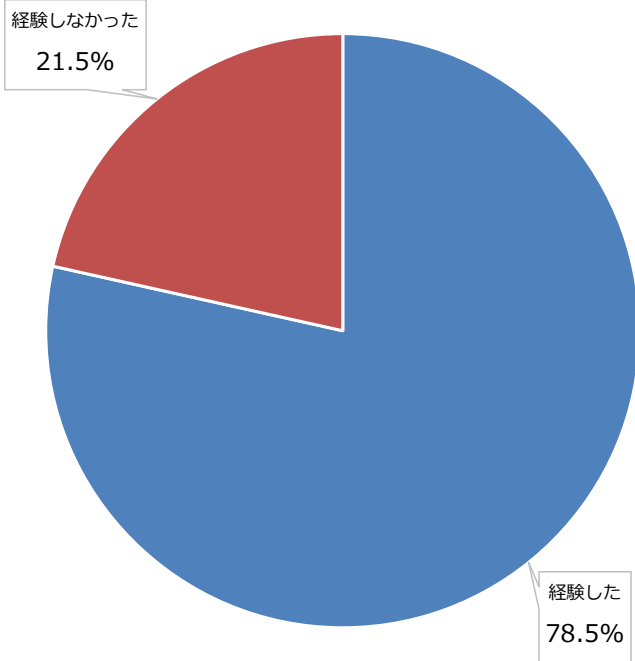


# 各種支援への満足度

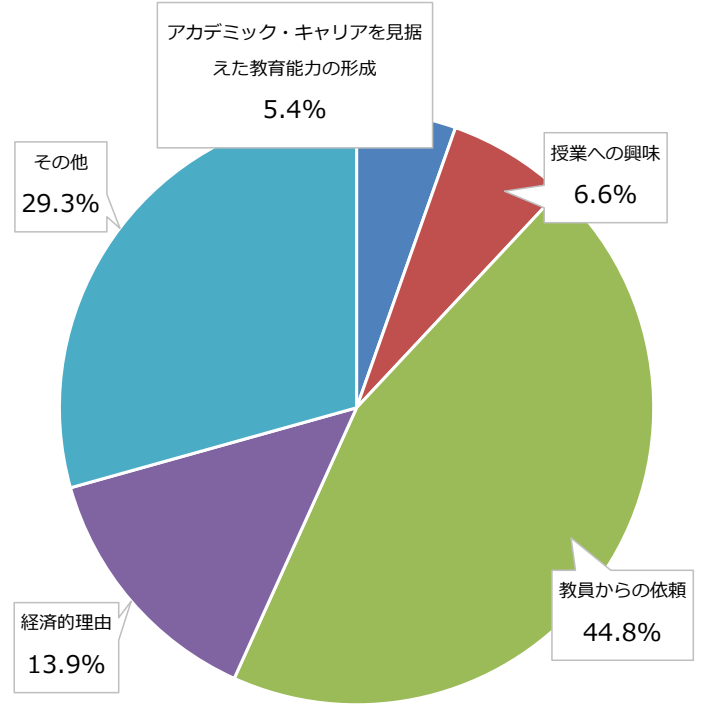


# TA経験

## TA経験の有無

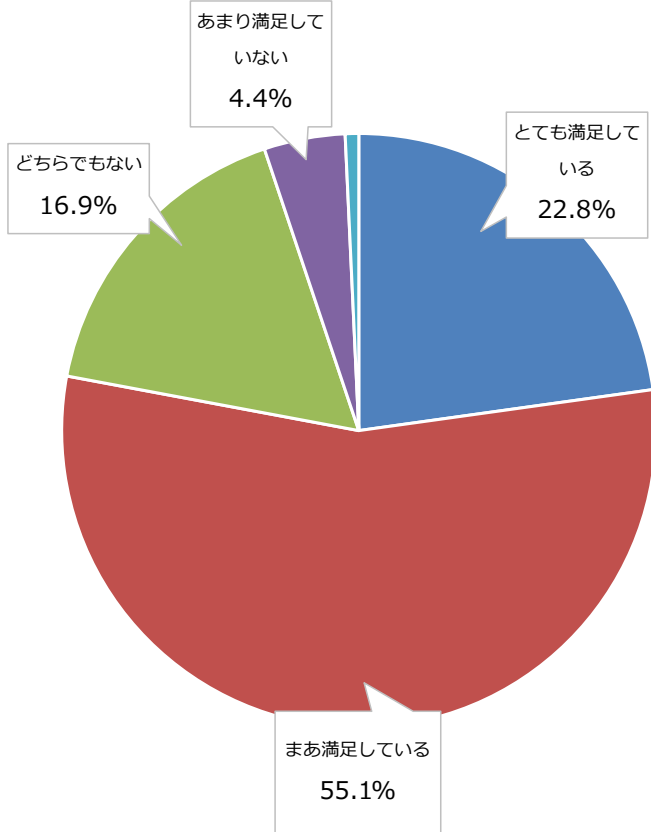


## TAになった理由

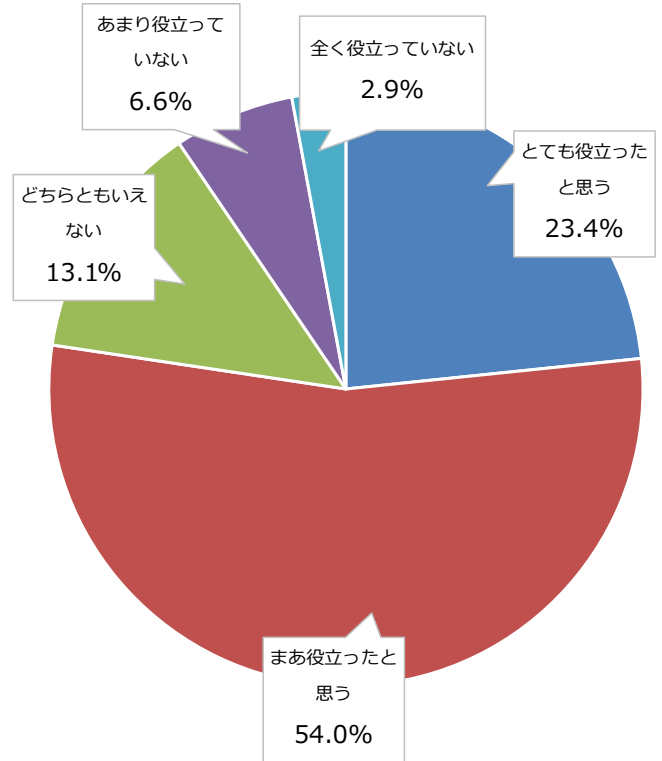


# TA経験について②

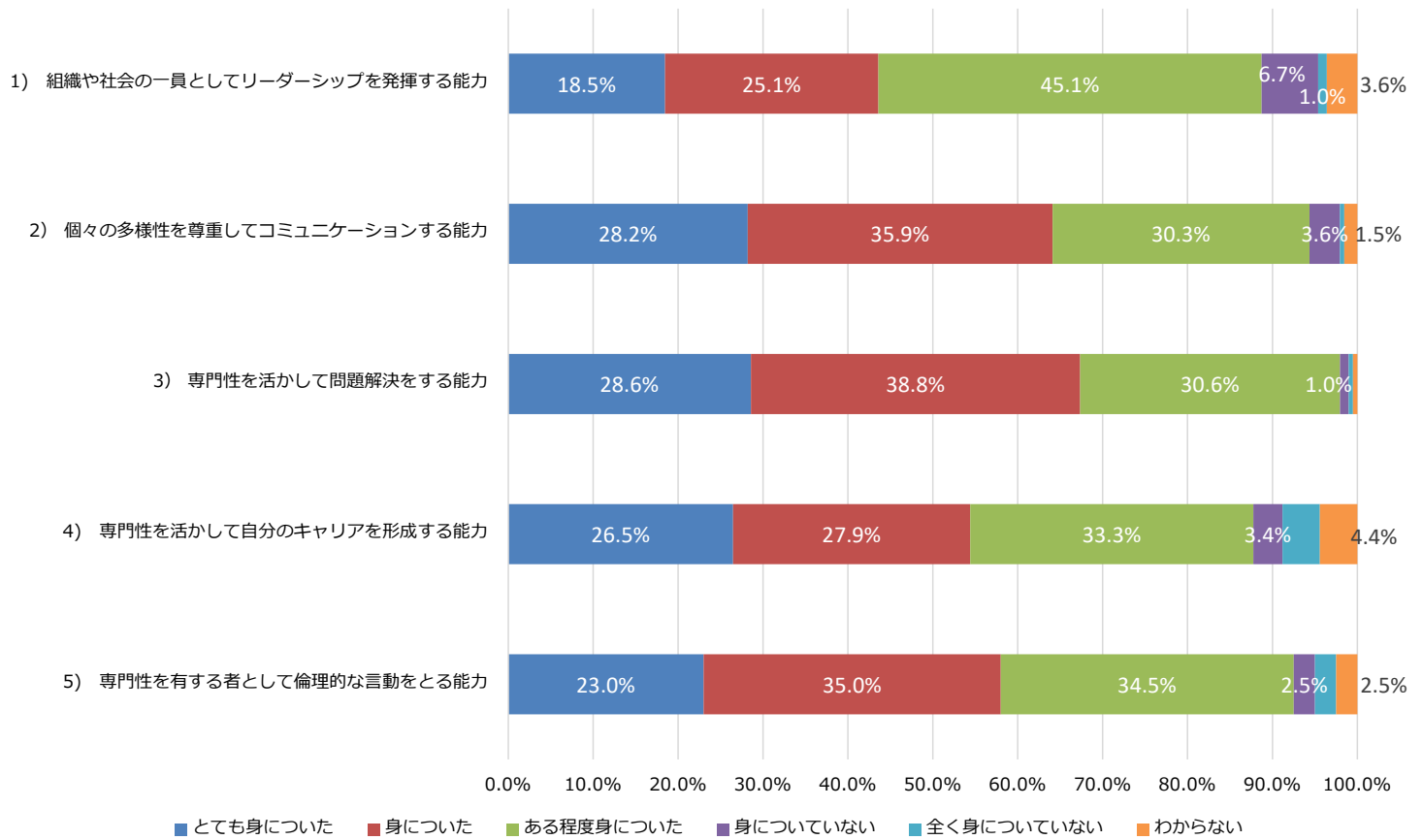
## TA経験に対する満足度



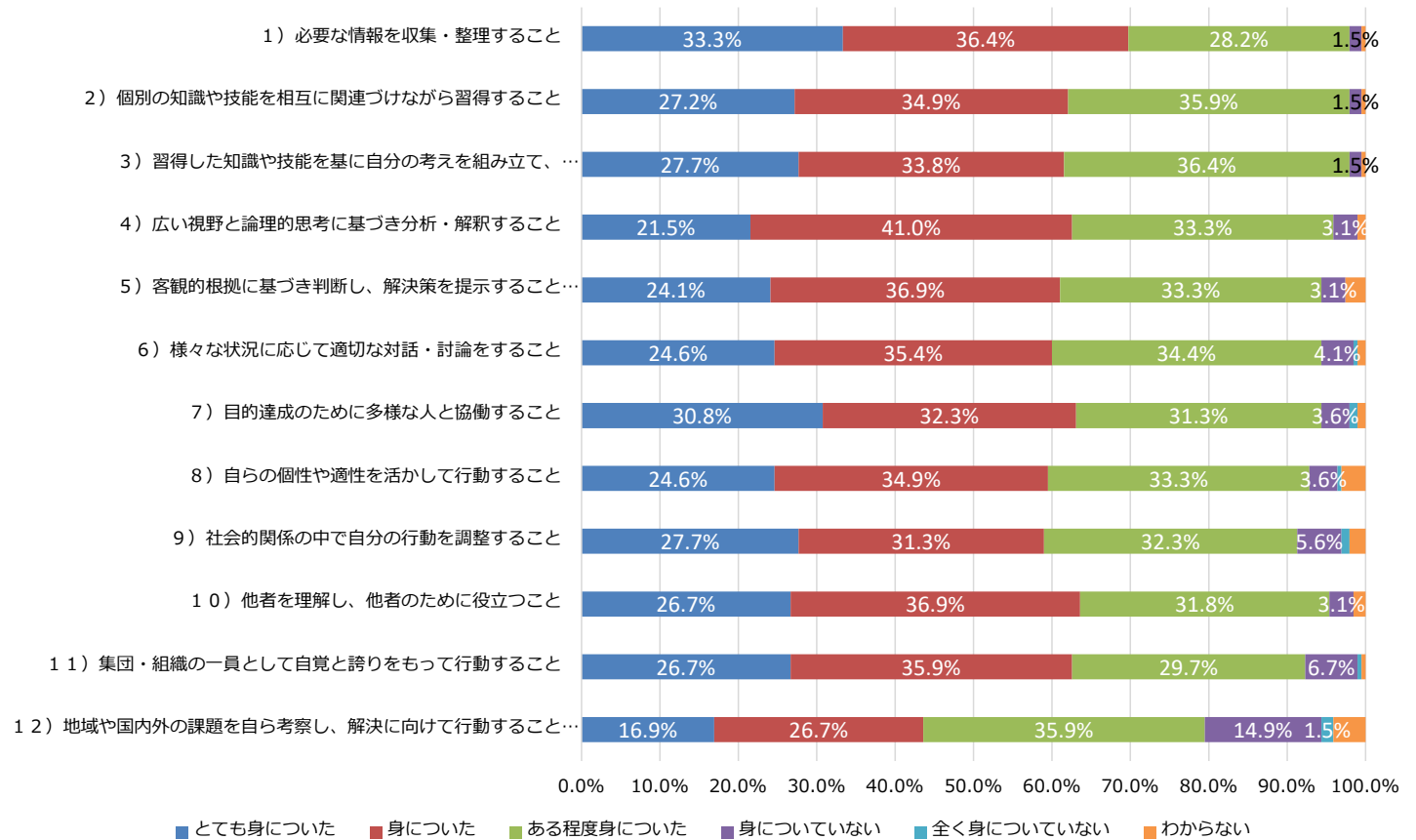
## 自身の能力向上への影響



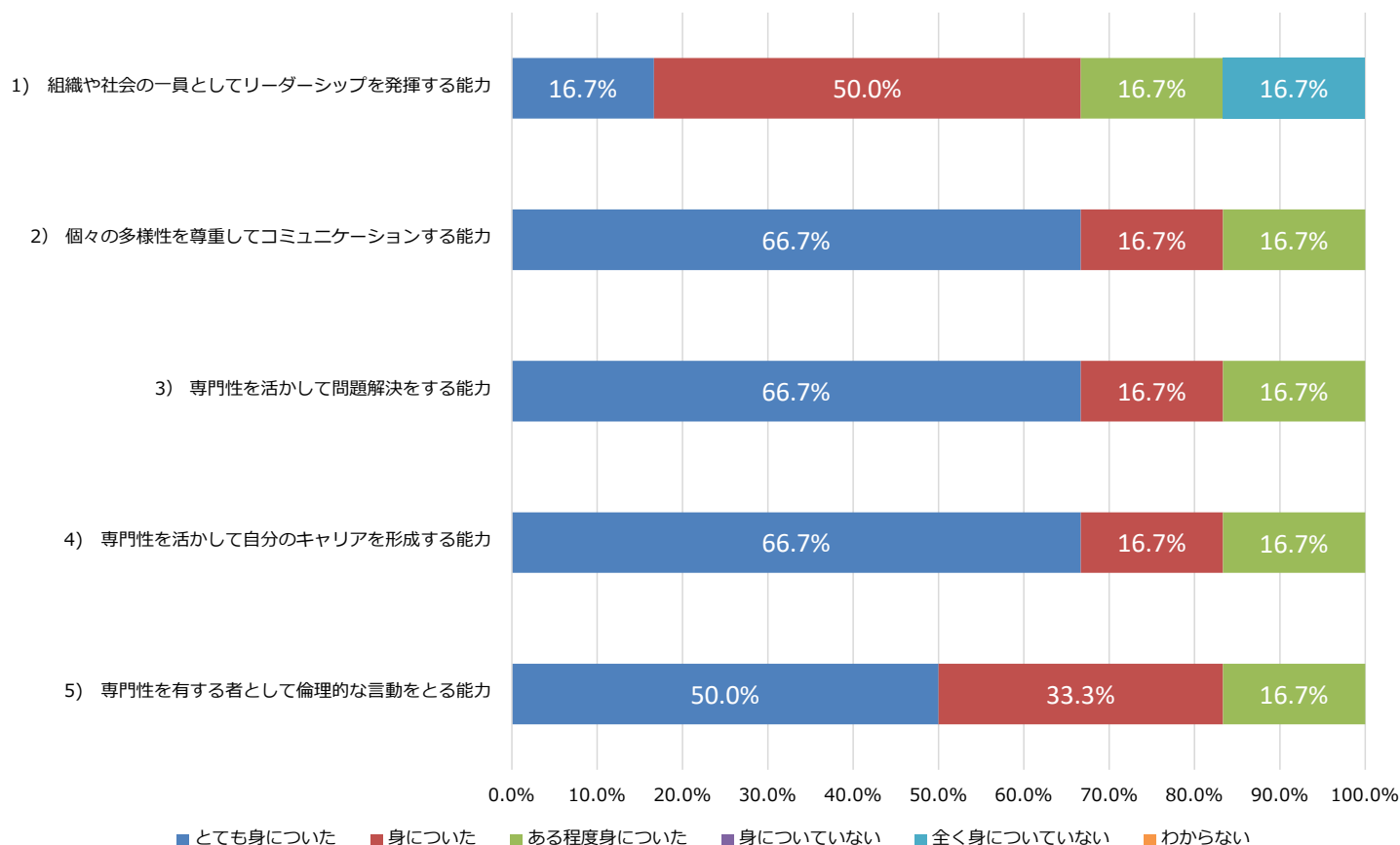
# 愛大トランスファラブルスキルの習得度



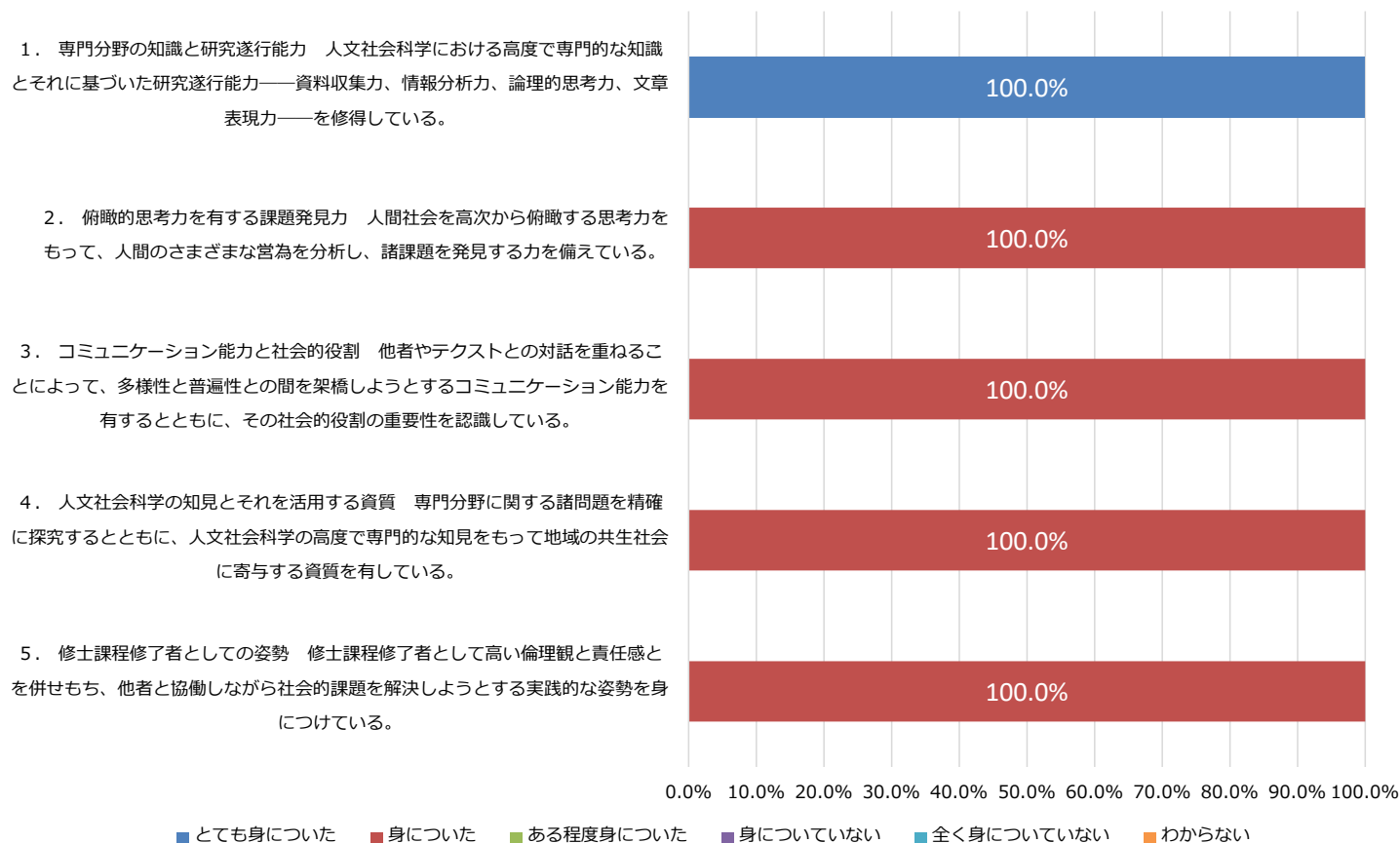
# 愛大学生コンピテンシーの習得度



# 愛大トランスファラブルスキル（人文社会科学研究科）

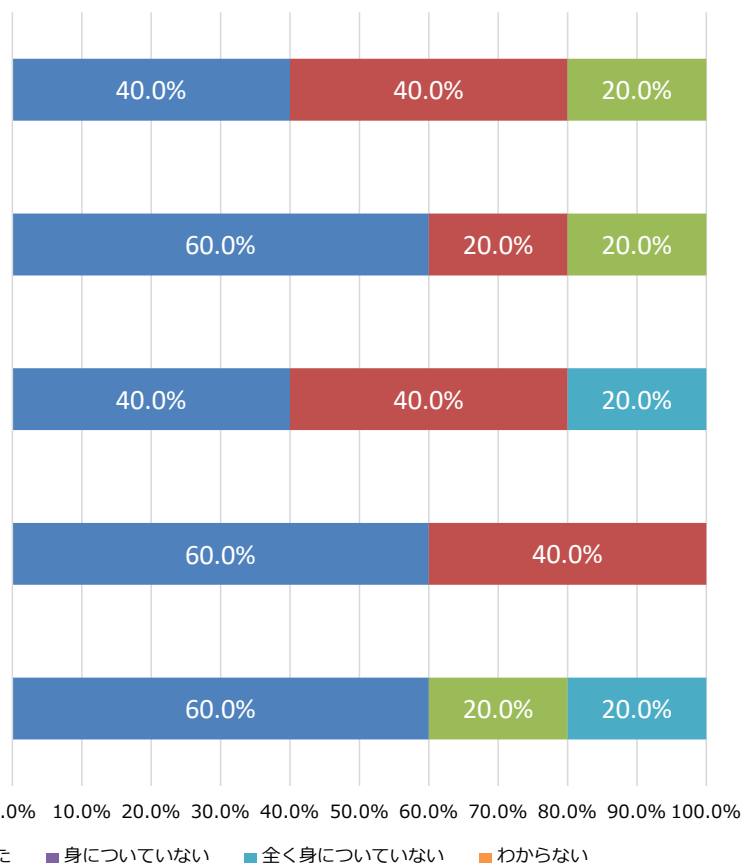


## DP達成度（人文社会科学研究科法文学専攻）



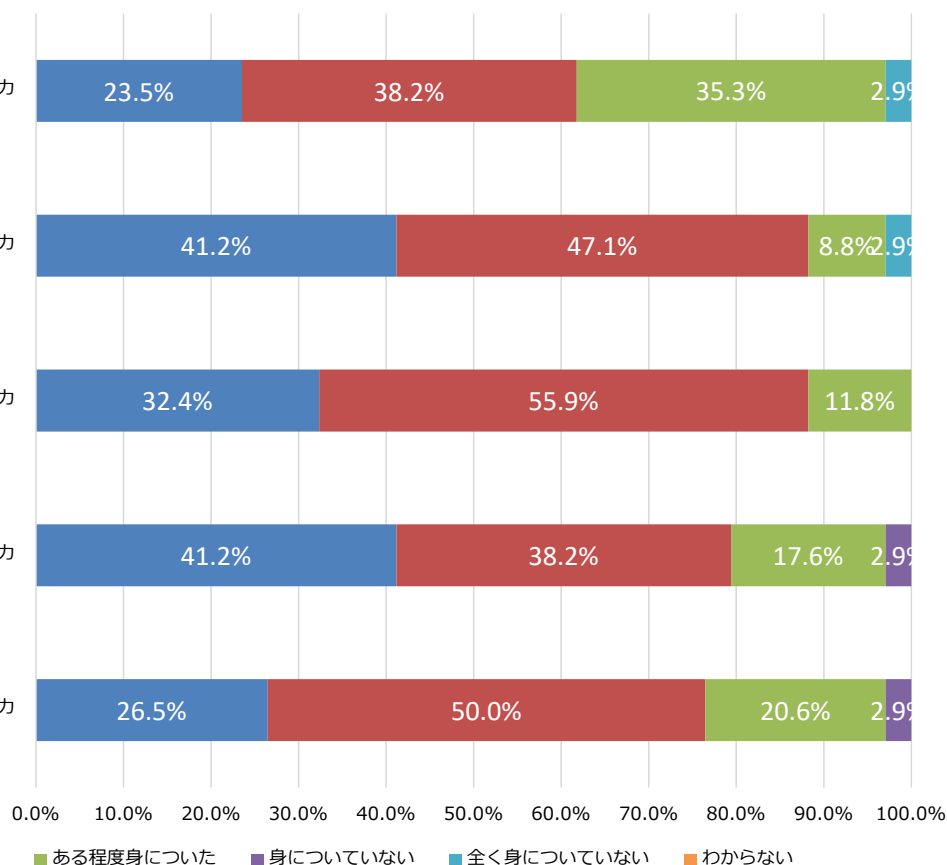
# DP達成度（人文社会科学研究科産業システム創成専攻）

1. 専門分野の知識と理解 社会科学の高度な専門知識を有し、産業システムの本質を理解できる。
2. 課題発見力と実践的研究の遂行能力 社会科学の幅広い学識を有し、産業システムに対して理論と実践を用いて多面的な考察及び的確な分析を行い、産業システムの課題を発見できる。また、研究課題と目標を適切に設定し、論理的思考及び適切な研究手法を用いて実践的研究を着実に進めることができる。
3. コミュニケーション能力とリーダーシップ コミュニケーション能力を有し、多様なステークホルダーと意思疎通を図り、協働することができる。社会や組織においてリーダーシップを発揮することができる。
4. 情報分析力・発信力 必要な情報を効率よく収集・整理し、データ分析手法を用いて研究対象や課題を定量的、定性的に正確に分析し、課題解決の道筋を示すことができる。また、その成果を的確に発信できる。
5. 修士課程修了者としての姿勢 修士課程修了者として豊かな人間性を有し、地域社会の持続可能な発展に強い関心を持ち続け、実践的研究能力を用いて新たな価値創造を主体的に導くことができる。



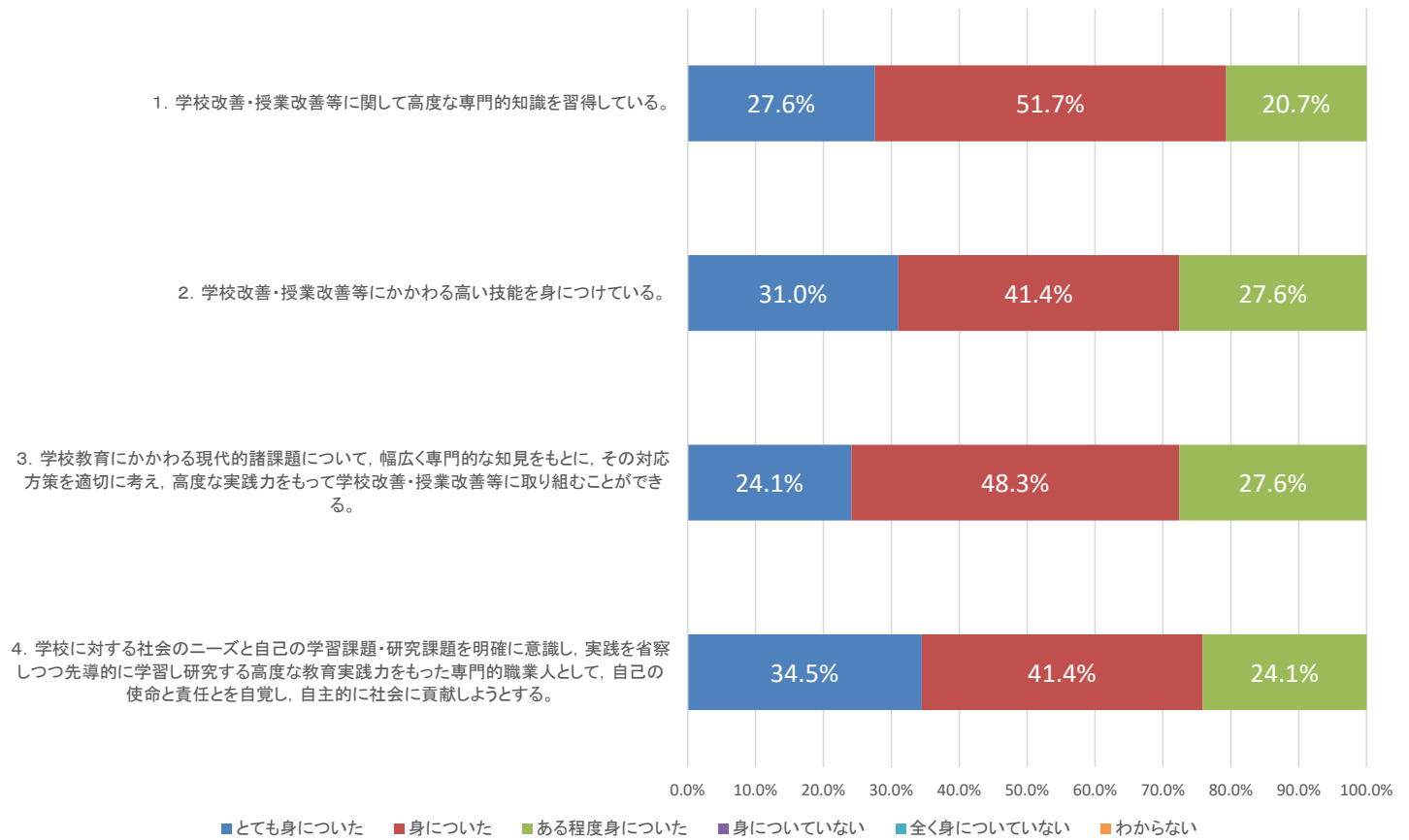
# 愛大トランスファラブルスキル（教育学研究科）

- 1) 組織や社会の一員としてリーダーシップを発揮する能力
- 2) 個々の多様性を尊重してコミュニケーションする能力
- 3) 専門性を活かして問題解決をする能力
- 4) 専門性を活かして自分のキャリアを形成する能力
- 5) 専門性を有する者として倫理的な言動をとる能力

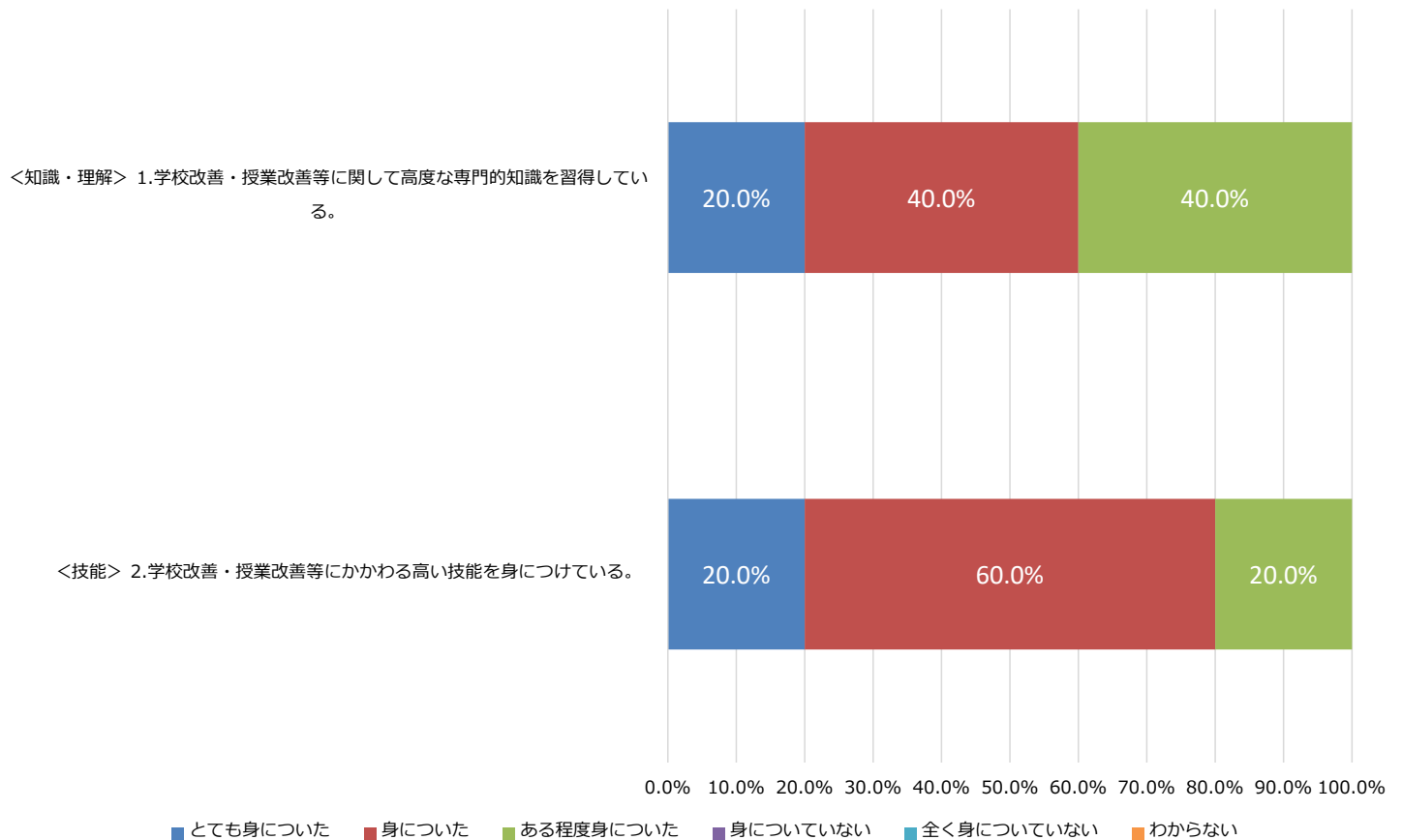




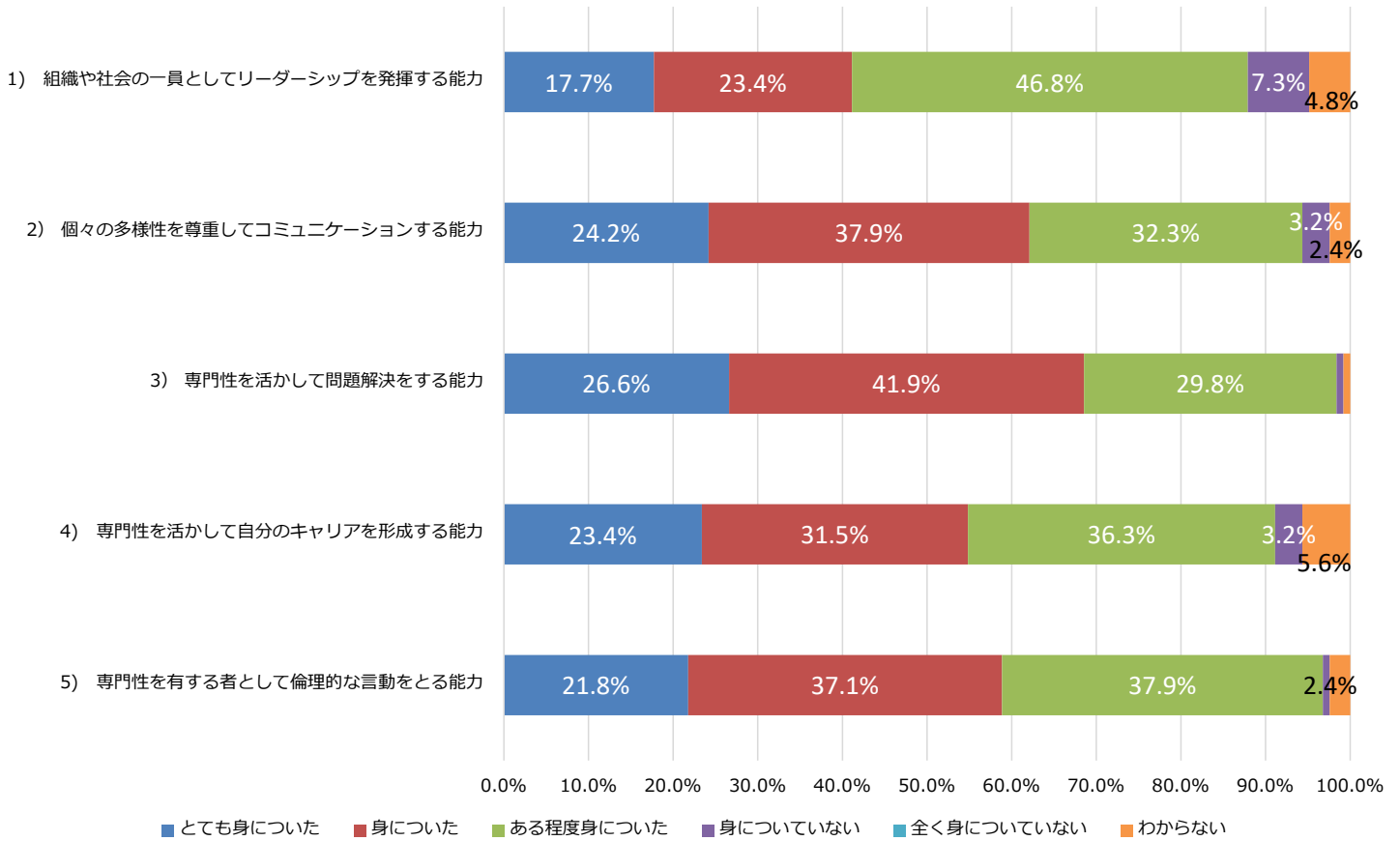
# DP達成度（教育学研究科教育実践高度化専攻）



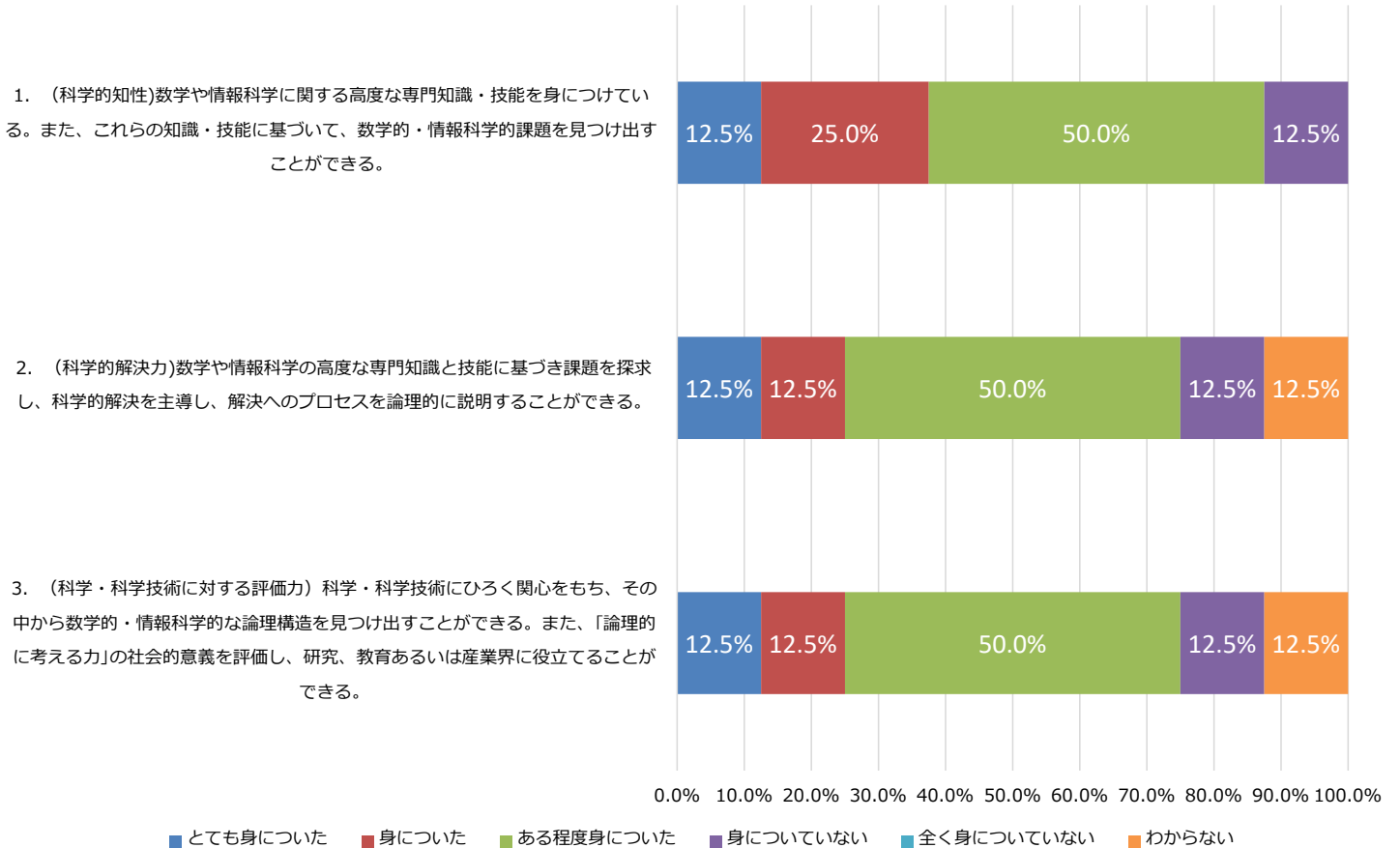
# DP達成度（教育学研究科心理発達臨床専攻）



# 愛大トランスファラブルスキル（理工学研究科）

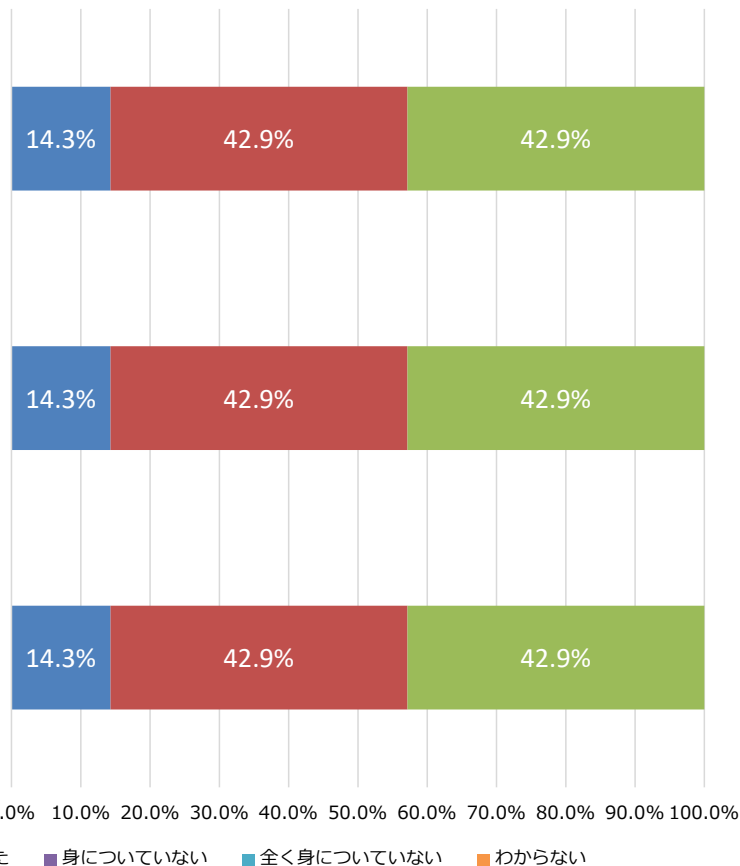


# DP達成度（理工学研究科数理科学コース）



# DP達成度（理工学研究科物理学コース）

1. (科学的分析力)物理学に関する高度な専門知識・技能が身についている。また、これらの知識・技能に基づいて、物理学的課題を見つけ出すことができる。

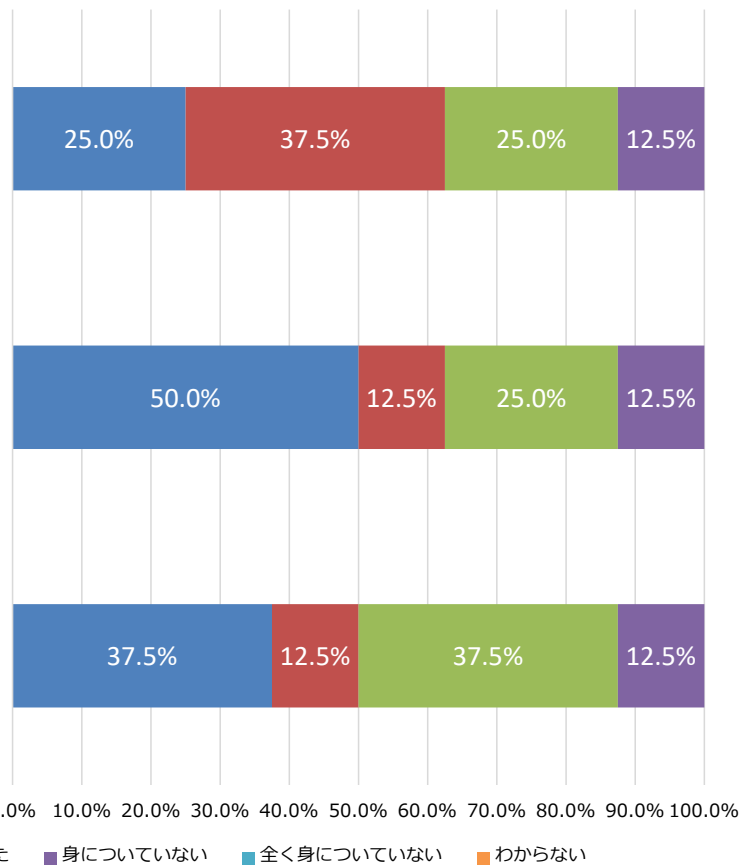


2. (科学的解決力)物理学の高度な専門知識と技能を社会の様々な課題に応用し、その科学的解決の主導、発信をすることができる。

3. (科学・科学技術に対する評価力)文化文明に展開される科学・科学技術を、人間、社会および地球環境との調和の観点から評価することができる。

# DP達成度（理工学研究科分子科学コース）

1. (科学的知性)化学の高度な専門知識と技能を修得して体系化できており、それを基盤にして国内外の様々な場面において、協働して科学・科学技術的課題を洗い出すことができる。

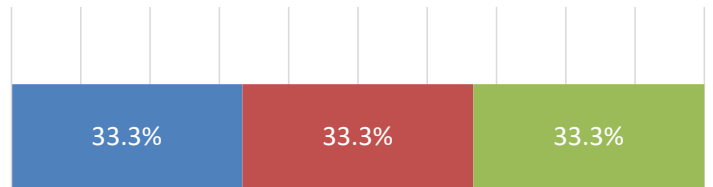


2. (科学的解決力)科学的原理に遡って社会の様々な課題の本質を分析し、化学の高度な専門知識と技能に基づく調査・研究を通じて、課題解決の主導、発信をすることができる。

3. (科学・科学技術に対する評価力)社会、文化、地球環境の観点から科学・科学技術の役割と責任を論じ、評価することができる。

# DP達成度（理工学研究科生物環境科学コース）

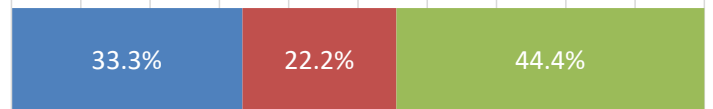
1. (科学的知性)生命現象や地球環境に関する高度な専門知識と技能を修得して体系化できており、それを基盤にして国内外の様々な場面において、協働して科学・科学技術的課題を洗い出すことができる。



2. (科学的解決力)科学的原理に遡って社会の様々な課題の本質を分析し、生命現象や地球環境に関する高度な専門知識と技能に基づく調査・研究を通じて、課題解決の主導、発信をすることができる。



3. (科学・科学技術に対する評価力)社会、文化、地球環境の観点から、専門的知識と技能に基づき、科学・科学技術の役割と責任を論じ、評価することができる。



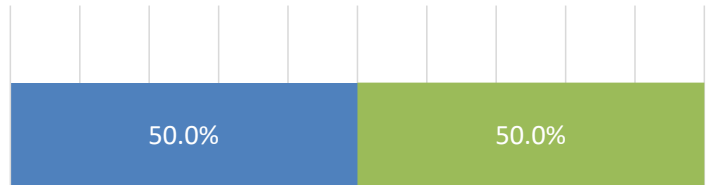
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■ とても身についた ■ 身についた ■ ある程度身についた ■ 身についていない ■ 全く身についていない ■ わからない



# DP達成度（理工学研究科地球進化学コース）

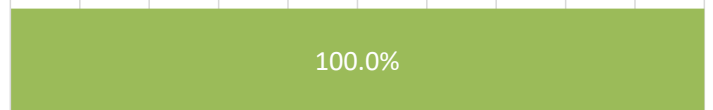
1. (科学的知性) 地球科学を中心に高度な専門知識と分析・実験技能を身につけ、国際的な視点で地球科学に関する課題を発見することができる。



2. (科学的解決力) 地球科学に関連する事象に関する課題を科学的な原理・原則に基づいて解決に導き、国際的な場で発信することができる。



3. (科学・科学技術に対する評価力) 高度な地球科学的分析能力・探求力に基づいて、科学的現象を客観的に評価することができる。また、身に付けた地球科学的素養や研究成果を人間、社会および地球環境の調和に役立てることができる。



0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■ とても身についた ■ 身についた ■ ある程度身についた ■ 身についていない ■ 全く身についていない ■ わからない



# DP達成度（理工学研究科機械工学コース）

1. 専門家としての自立 機械工学分野における専門的かつ体系的な知識と技能を有する高度技術者、研究者として自立的に発展することができる。



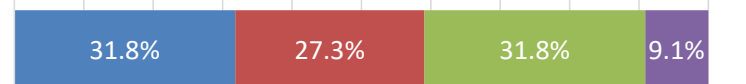
2. 実践力 高度な基礎科学、専門知識およびコミュニケーション能力を活用することによって機械技術をはじめとした幅広い課題に対処することができる。



3. 科学の普及 多面的な視点から人間と機械および社会との協調について考えて、研究成果を社会に還元することにより科学技術の普及を助けることができる。



4. 自己評価能力 自らの成果である機械技術について、社会と自然に及ぼす効果を理解しながら、倫理観のある技術者・研究者として評価することができる。



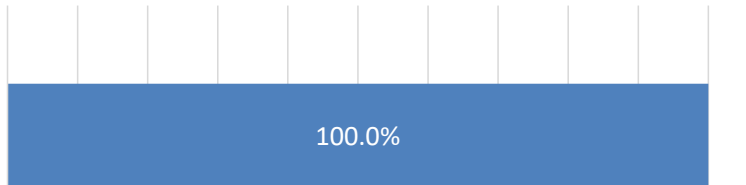
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■ とても身についた ■ 身についた ■ ある程度身についた ■ 身についていない ■ 全く身についていない ■ わからない

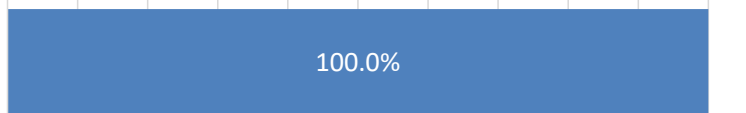


# DP達成度（理工学研究科環境建設コース）

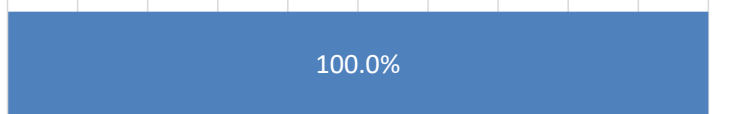
1. 地球的視点と調和指向の能力、持続可能な社会を築くためのデザイン能力および自然環境と防災に対処できる総合的能力を持つ



2. 科学技術の急速な進歩や価値観の多様化などの多面的な要素の柔軟かつ的確に適応できる能力と幅広い総合的視野を持つ



3. 多面的に問題を捉え、自ら持続して学習し、協同して計画的に問題解決することができる



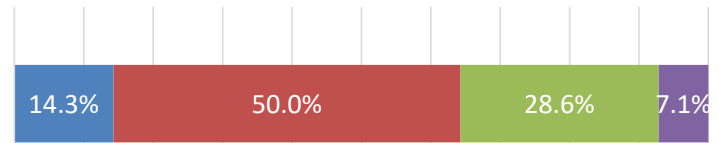
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■ とても身についた ■ 身についた ■ ある程度身についた ■ 身についていない ■ 全く身についていない ■ わからない



# DP達成度（理工学研究科機能材料コース）

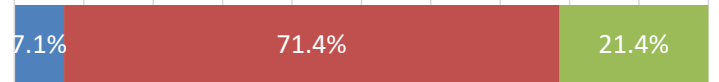
1. 学部学科である機能材料工学科を基礎として、材料工学に関する幅広い学問的素養および専門知識を活用できる基礎技能を持つ。(知識・理解)



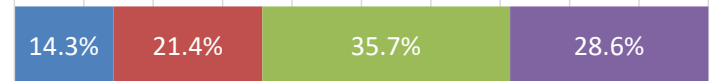
2. 世界的視野を持って、自ら課題を設定し、自らの思考と行動で問題を解決できる課題探求能力を持つ。(関心・思考)



3. 自らの能力を自発的・継続的に向上させ、材料技術者・研究者として自立し、成長できるための能力を持つ。(意欲・態度)



4. 国際化に対応できるように、英語を用いて論理的に表現する基礎技能を持つ。(技能・表現)



0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■ とても身についた ■ 身についた ■ ある程度身についた ■ 身についていない ■ 全く身についていない ■ わからない



# DP達成度（理工学研究科応用化学コース）

1. 応用化学分野に関する高度で深い専門知識や技術を習得し、それらを化学技術の発展のために応用することができる（専門家としての自立）



2. 融合領域・学際領域の知識や技能について興味をもち、専門知識と相互に関連づけながらオリジナルな考えを提示することができる（専門家としての自立）



3. 問題を認識して自らテーマを設定し、調査・分析を行い、結果を広い視野と論理的思考をもって考察・判断することで、有効な解決方法を提示することができる（実践力）



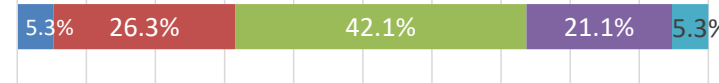
4. 文章や口頭において、自らの思考・判断のプロセスや成果を論理的にかつ明瞭に説明・伝達するための高度なコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を有している（実践力）



5. 技術者・研究者として高い創造性・独創性・柔軟性・倫理性・協調性をもち、習得した専門知識を国際社会や地域社会の中で活かすことができる（実践力）



6. 国際社会で自らの専門力を活かすために必要な英語力を有している（実践力）



7. 社会の一員であることの自覚と誇りを持ち、社会の人々の理解と地球環境との調和を意識しながら、化学技術の活用の促進に寄与することができる（科学の普及）



0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■ とても身についた ■ 身についた ■ ある程度身についた ■ 身についていない ■ 全く身についていない ■ わからない



# DP達成度（理工学研究科電気電子工学コース）

1. 電気・電子工学分野の高度な専門知識を系統的に修得し、それらを柔軟に応用できる。



2. 最先端の電気電子分野の研究の方法論、研究実施能力、問題解決能力を身につけ、研究を自立的に進めることができる。



3. 研究課題やその動機や問題点、試みた解決方法、結果及び結論をわかりやすく伝え、定量的かつ科学的な議論を展開することができる。



4. 社会の中核として活躍できる技術者・研究者として、高い倫理観と責任感を持ち、人々の幸福な生活を願い、エネルギー問題、環境問題等、社会が抱えるさまざまな問題の解決のために、科学技術を応用することに情熱をそそぐことができる。



0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■ とても身についた ■ 身についた ■ ある程度身についた ■ 身についていない ■ 全く身についていない ■ わからない

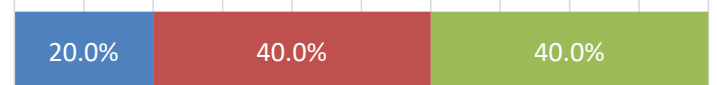


# DP達成度（理工学研究科情報工学コース）

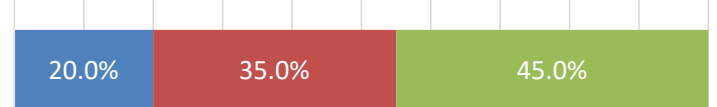
1. 情報工学分野における高度な専門知識と技能を持った技術者、研究者として生きることができる。



2. 修得した知識と技能を様々な問題に適用し、解決することができる。



3. 高度な専門知識と広い分野の知識を自律的に学習し、必要とされる課題を自ら探求することができる。



4. 広い視野と高い倫理観を持って自己と社会の問題を考察、評価することができる。

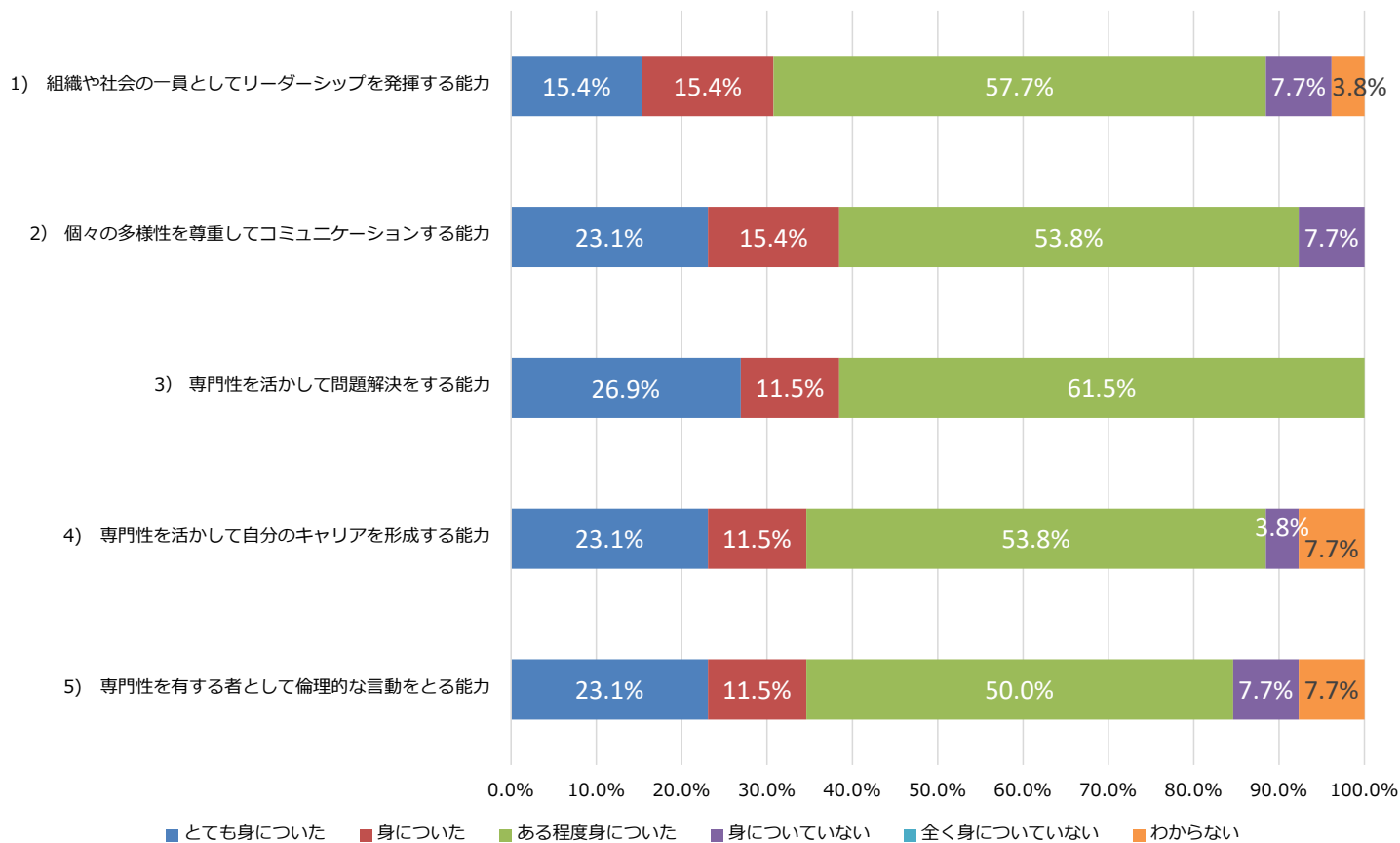


0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■ とても身についた ■ 身についた ■ ある程度身についた ■ 身についていない ■ 全く身についていない ■ わからない



# 愛大トランスファラブルスキル（農学研究科）



## DP達成度（農学研究科食料生産学専攻）

（知識・技能・理解）生物生産技術の開発と安全・安心な食料の安定供給に関する高度な専門知識と技術を修得している。また、これらを用いるための高い倫理観を身につけている。



（思考・判断）自然と共生する持続可能な社会の構築の観点から、地域社会や国際社会における食料、生命、環境に関連する諸課題、特に食料に関連する諸課題の原因を論理的考察に基づいて説明し、有効な解決策を見出すことができる。



（興味・関心・意欲）上記の諸課題への関心と身に付けた高度な知識や技能をこれらの解決に役立てたいという意欲をもち、高い倫理性をもって、課題解決のための行動を自律的・継続的にとることができる。



（表現）高度なプレゼンテーション能力と高いコミュニケーション能力をもち、自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を適切に説明することができる。



（主体性・協働性）優れた主体性・協働性を発揮し、上記の諸課題を解決することができる。



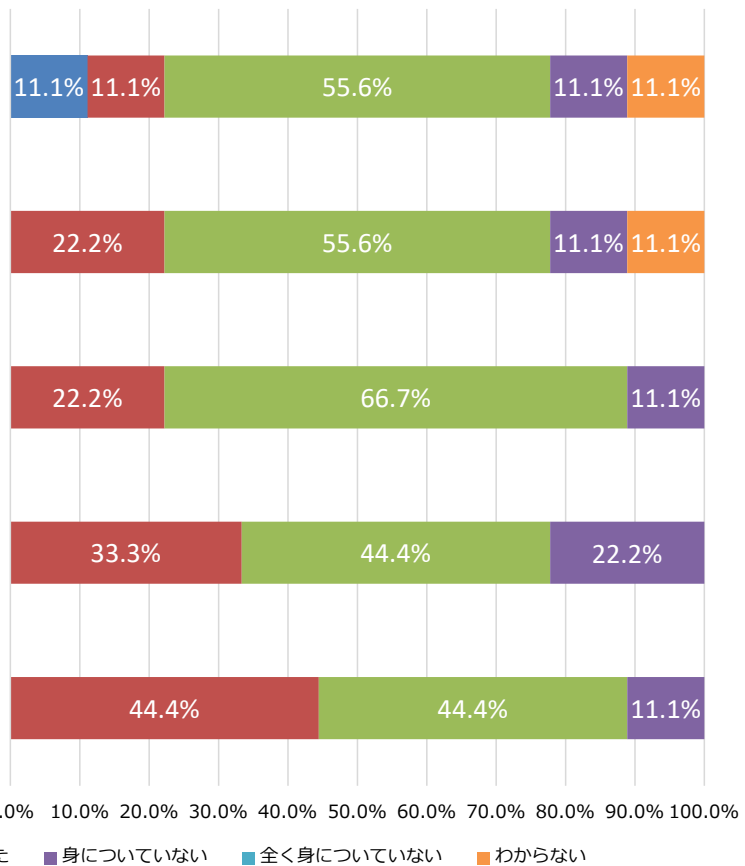
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■ とても身についた ■ 身についた ■ ある程度身についた ■ 身につけていない ■ 全く身につけていない ■ わからない



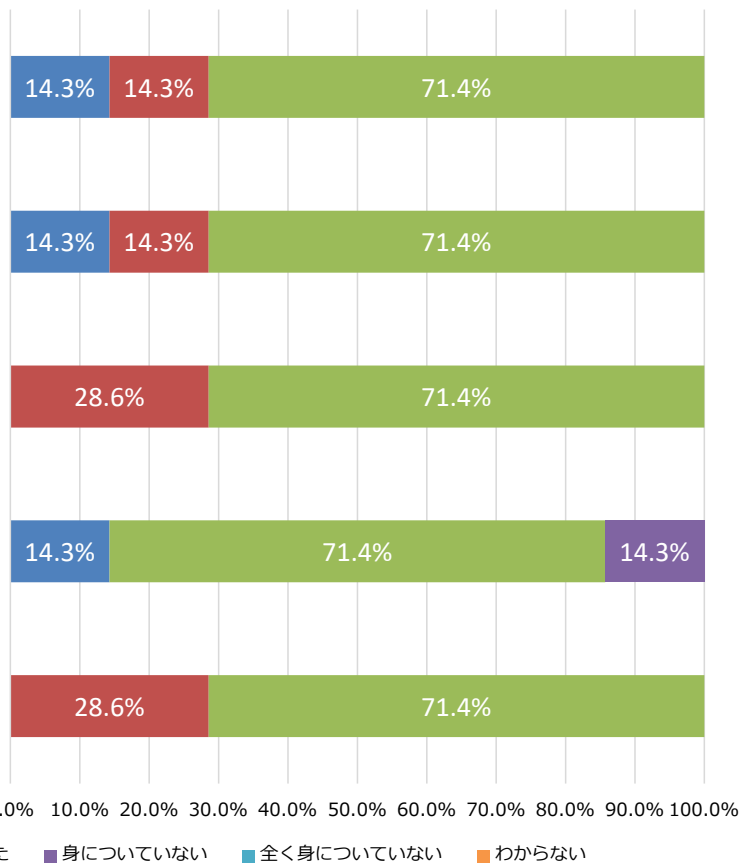
## DP達成度（農学研究科生命機能学専攻）

（知識・技能・理解）生命機能の解明と生物資源の利用に関する高度な専門知識と技術を修得している。また、これらを用いるための高い倫理観を身につけている。



## DP達成度（農学研究科生物環境学専攻）

（知識・技能・理解）生物環境の創造・修復・保全・管理・利用に関する高度な専門知識と技術を修得している。また、これらを用いるための高い倫理観を身につけている。



# 愛大トランスファブルスキル（医農融合公衆衛生学環）

